



## 2024年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月12日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東  
コード番号 7453 URL <https://www.ryohin-keikaku.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堂前 宣夫  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部管掌 (氏名) 堀口 健太 TEL 03-6699-7358  
四半期報告書提出予定日 2024年7月16日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2024年8月期第3四半期の連結業績（2023年9月1日～2024年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第3四半期	495,699	13.7	42,469	87.3	43,326	79.5	33,507	79.4
2023年8月期第3四半期	435,797	17.5	22,672	△8.7	24,133	△15.5	18,682	△6.6

(注) 包括利益 2024年8月期第3四半期 59,074百万円 (221.0%) 2023年8月期第3四半期 18,402百万円 (△36.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第3四半期	126.66	126.35
2023年8月期第3四半期	70.77	70.61

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期第3四半期	522,032	315,497	59.6	1,176.05
2023年8月期	453,715	267,446	58.1	997.13

(参考) 自己資本 2024年8月期第3四半期 311,302百万円 2023年8月期 263,598百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2024年8月期	-	20.00	-	-	-
2024年8月期（予想）	-	-	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	660,000	13.5	53,000	59.9	53,500	48.0	36,000	63.3	136.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2024年7月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）MUJI Europe Limited  
除外 1社 （社名）MUJI Europe Holdings Limited  
詳細は【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」  
をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は【添付資料】P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」  
をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期3Q	280,780,000株	2023年8月期	280,780,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期3Q	16,078,081株	2023年8月期	16,421,638株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期3Q	264,548,526株	2023年8月期3Q	264,000,723株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきましては、世界的な資源価格の高騰や金融引き締めに伴う海外景気の下振れにより、依然として国内外における経済の先行きは不透明な状態が続いています。また、円安の進行や原材料価格、エネルギーコストの上昇に伴う生活必需品の値上げも相次いでおり、消費者の節約志向が一層強まっています。

このような状況の中、当社グループは、第二創業にあたり、「人と自然とモノの望ましい関係と心豊かな人間社会」を考えた商品、サービス、店舗、活動を通じて「感じ良い暮らしと社会」の実現に貢献することを企業理念と定め、以下に記載する二つの使命を果たすべく事業展開を進めました。

第一の使命は、日常生活の基本商品群を誠実な品質と倫理的な視点から開発し、使うことで社会を良くする商品を、手に取りやすい価格で提供すること、そして第二の使命は、店舗は各地域のコミュニティセンターとしての役割を持ち、地域の皆さまと課題や価値観を共有し、共に地域課題に取り組み、地域への良いインパクトを実現することです。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりであります。

営業収益	4,956億99百万円(前年同期比 13.7%増)
営業利益	424億69百万円(前年同期比 87.3%増)
経常利益	433億26百万円(前年同期比 79.5%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	335億7百万円(前年同期比 79.4%増)

営業収益は、新規出店に伴う店舗数の増加に加え、国内の既存店売上が堅調に推移したことで、増収となりました。国内における価格改定に伴い、営業総利益率の改善が進み、営業利益、経常利益は増益になるとともに、本社売却益の計上等もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

また、当第3四半期末における無印良品(ライセンスストアを含む)の店舗数は国内外計1,275店舗(国内611店舗、海外664店舗)となり、前期末に比べ87店舗増加しました。国内では、郊外の生活圏を中心に61店舗を出店、海外では、中国大陸、香港、タイ、マレーシア等に47店舗を出店し、店舗網を拡大しました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っています。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメントの利益又は損失の算定方法により組み替えた数値で比較分析しています。

#### ① 国内事業

国内事業における当第3四半期連結累計期間の営業収益は2,931億28百万円(前年同期比11.9%増)、セグメント利益は308億10百万円(同75.6%増)と、増収増益となりました。

営業収益は、スキンケアや日用消耗品をはじめとする生活雑貨が好調に推移したほか、継続的なマーケティング活動が集客に寄与したことで、増収となりました。また、2023年1月から2月にかけて実施した一部商品の価格改定に伴い、営業総利益率の改善が図られ、大幅な増益となりました。

#### ② 東アジア事業

東アジア事業における当第3四半期連結累計期間の営業収益は1,442億49百万円(前年同期比15.7%増)、セグメント利益は255億14百万円(同17.7%増)と、増収増益となりました。

中国大陸は既存店の売上が伸び悩んだものの、新規出店に伴う店舗網の拡大により、増収増益となりました。生活雑貨を中心に現地開発商品を拡充しました。そのほか、台湾、香港、韓国も増収増益となりました。

#### ③ 東南アジア・オセアニア事業

東南アジア・オセアニア事業における当第3四半期連結累計期間の営業収益は288億45百万円(前年同期比25.1%増)、セグメント利益は35億65百万円(同52.8%増)と、増収増益となりました。

タイ、マレーシア、ベトナムなど新規出店を進め、東南アジア・オセアニア事業の店舗数は100店舗となりました。新規出店に伴い経費が先行するも、セグメント利益は前年実績を上回りました。

#### ④ 欧米事業

欧米事業における当第3四半期連結累計期間の営業収益は294億76百万円(前年同期比12.7%増)、セグメント利益は38億52百万円(同1,398.5%増)と、増収増益となりました。

北米においては、店舗運営力の向上および経営体制の強化を進め、引き続き売上が伸長しました。欧州においては、経営資源を集中させるため、不採算店舗を閉鎖するなど、収益基盤の強化を進めました。

## [ESGの取り組み]

創業時から変わらない「社会や人の役に立つ」という根本方針のもと、ESG経営のトップランナーを目指し、提供する商品やサービス、地域に根差す店舗を軸とした活動を通じて、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを進めています。

## ・商品におけるESG：

当社では、以前から機能性素材や天然由来成分を使用するなどして、節電しながら暑い夏を快適に過ごすための商品開発に力を入れています。2024年4月からは、天然由来成分<sup>\*1</sup>100%にこだわった「ボディスクラブ クールタイプ」などケア用品8種類、また2024年5月から接触冷感性のある生地を使用し、触れた時に冷たさを感じる「背当てにもなるひんやりマルチクッション」などファブリック10種類を発売しました。

<sup>\*1</sup> 天然成分を化学的に反応させた成分を含みます。

## ・事業活動でのESG：

当社は、循環型社会の実現に向けて、使い終わった商品も貴重な資源として循環させる取り組みを、お客さまにご協力いただきながら推進しています。具体的には、ご不要になった無印良品の一部商品を、店頭回収したうえでリユース・リサイクルし、商品をお持ち込みいただいたお客さまには、1,000MUJIマイルをプレゼントしています。この取り組みをさらに拡大するため、5月30日よりMUJIマイル付与対象商品を、「衣料品」のみから、「プラスチック収納用品」と「スキンケアPETボトル」に拡大しました。さらに付与するMUJIマイルを7月1日までの期間限定で3,000MUJIマイルに増やすキャンペーンも実施し、回収量拡大を目指しています。回収したプラスチック収納用品は、再生ポリプロピレン入りの商品として、またPETボトルは再生PET素材のボトルへとリサイクルしています。

## ・土着化活動でのESG：

当社は、公益人本主義経営の実現を目指し、ステークホルダーの皆様との対話の機会を積極的に設けてきました。4月からは地域事業に注力している大型店舗を中心に、各店舗の社員により企画・開催する、少人数形式での対話イベント「タウンミーティング」を開催しています。地域住民および地域事業者の皆様を広くお迎えし、当社が目指す方向性や店舗での取り組みをご紹介することで、事業活動への理解をより深めて頂くだけでなく、地域の皆様が目指す地域の姿や無印良品に期待されることをお伺いし、より地域に根付き寄り添った事業活動へと繋げていきます。第3四半期においては、横浜、広島、京都、千葉の4地域事業部で開催し、今後もより多くの地域でのタウンミーティングの開催を予定しています。この活動を通し、各店舗が地域のコミュニティセンターとなり、地域の皆様と課題や価値観を共有し、地域課題の解決と地域への良いインパクトの創出に貢献することを目指しています。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は5,220億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ683億17百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加95億31百万円、受取手形及び売掛金の増加32億51百万円、商品の増加32億53百万円、その他流動資産の増加155億46百万円、有形固定資産の増加122億74百万円、および投資その他の資産の増加188億97百万円によるものです。

負債は2,065億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ、202億67百万円増加しました。これは主に、買掛金の増加42億30百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少217億56百万円、社債の増加300億円、および繰延税金負債の増加96億59百万円によるものです。

純資産は3,154億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ、480億50百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加221億88百万円、繰延ヘッジ損益の増加177億47百万円、および為替換算調整勘定の増加64億72百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の58.1%から59.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月13日付「2023年8月期 決算短信」にて発表しました、2024年8月期(2023年9月1日～2024年8月31日)通期の連結業績予想を修正しました。

詳細につきましては、本日(2024年7月12日)公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	115,038	124,570
受取手形及び売掛金	12,323	15,574
商品	133,078	136,331
仕掛品	139	391
貯蔵品	79	111
未収入金	12,894	15,194
その他	19,880	35,426
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	293,412	327,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	79,388	90,603
減価償却累計額	△46,873	△51,188
建物及び構築物(純額)	32,514	39,414
機械装置及び運搬具	5,607	5,765
減価償却累計額	△4,286	△4,429
機械装置及び運搬具(純額)	1,321	1,335
工具、器具及び備品	31,456	35,389
減価償却累計額	△22,532	△24,832
工具、器具及び備品(純額)	8,924	10,556
土地	1,558	935
リース資産	94	76
減価償却累計額	△41	△47
リース資産(純額)	52	28
使用権資産	72,537	81,197
減価償却累計額	△35,109	△41,041
使用権資産(純額)	37,428	40,155
建設仮勘定	1,831	3,478
有形固定資産合計	83,630	95,904
無形固定資産		
のれん	759	243
ソフトウェア	26,885	30,421
その他	1,910	1,869
無形固定資産合計	29,555	32,534
投資その他の資産		
投資有価証券	1,713	2,704
繰延税金資産	2,774	2,290
敷金及び保証金	23,846	25,805
固定化営業債権	—	13,023
その他	18,873	32,286
貸倒引当金	△92	△10,095
投資その他の資産合計	47,116	66,014
固定資産合計	160,302	194,453
資産合計	453,715	522,032

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	35,157	39,388
短期借入金	14,775	6,248
1年内返済予定の長期借入金	22,545	788
未払金	11,711	12,687
未払費用	9,279	11,540
未払法人税等	8,412	9,280
リース債務	12,343	12,812
賞与引当金	2,028	2,030
役員賞与引当金	205	188
その他	7,010	7,551
流動負債合計	123,470	102,517
固定負債		
社債	—	30,000
長期借入金	11,171	10,000
繰延税金負債	8,462	18,122
リース債務	34,822	35,852
役員退職慰労引当金	31	33
株式給付引当金	1,131	1,372
その他	7,178	8,636
固定負債合計	62,798	104,017
負債合計	186,268	206,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	29,620	29,719
利益剰余金	230,541	252,730
自己株式	△29,920	△29,311
株主資本合計	237,008	259,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	849	1,437
繰延ヘッジ損益	19,270	37,018
為替換算調整勘定	6,470	12,943
その他の包括利益累計額合計	26,590	51,398
新株予約権	631	645
非支配株主持分	3,216	3,549
純資産合計	267,446	315,497
負債純資産合計	453,715	522,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
営業収益	435,797	495,699
営業原価	236,304	245,575
営業総利益	199,493	250,124
販売費及び一般管理費	176,820	207,654
営業利益	22,672	42,469
営業外収益		
受取利息	250	567
受取配当金	45	—
為替差益	1,734	1,973
補助金収入	73	31
その他	615	405
営業外収益合計	2,719	2,977
営業外費用		
支払利息	1,150	1,637
その他	108	483
営業外費用合計	1,258	2,121
経常利益	24,133	43,326
特別利益		
固定資産売却益	4	7,943
投資有価証券売却益	2,960	—
リース条件変更利益	4	1,007
その他	—	80
特別利益合計	2,969	9,031
特別損失		
固定資産除却損	67	76
減損損失	—	351
関係会社整理損	—	494
その他	—	132
特別損失合計	67	1,054
税金等調整前四半期純利益	27,035	51,302
法人税等	8,137	17,562
四半期純利益	18,898	33,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	216	232
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,682	33,507

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	18,898	33,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,649	587
繰延ヘッジ損益	2,107	17,747
為替換算調整勘定	△953	6,999
その他の包括利益合計	△495	25,334
四半期包括利益	18,402	59,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,087	58,739
非支配株主に係る四半期包括利益	315	335

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、当社の100%子会社であるMUJI Europe Limitedに対して増資を実施いたしました。これに伴い、MUJI Europe Limitedの重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、MUJI Europe Limitedは当社の特定子会社に該当しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であったMUJI Europe Holdings Limitedは会社再生法の一つであるAdministrationを申請し、有効な支配従属関係が存在しなくなったと認められるため、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年9月1日至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	東南アジ ア・オセア ニア事業	欧米事業	計			
営業収益								
商品・製品売上高	259,235	124,434	23,009	26,106	432,785	—	—	432,785
営業収入	2,630	292	42	45	3,011	—	—	3,011
顧客との契約から生 じる収益	261,866	124,726	23,052	26,152	435,797	—	—	435,797
外部顧客への売上高	261,866	124,726	23,052	26,152	435,797	—	—	435,797
(1)外部顧客への営業 収益	261,866	124,726	23,052	26,152	435,797	—	—	435,797
(2)セグメント間の内 部営業収益又は振 替高	—	3	—	—	3	358	△362	—
計	261,866	124,730	23,052	26,152	435,801	358	△362	435,797
セグメント利益	17,547	21,679	2,333	257	41,817	8	△19,153	22,672

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. セグメント利益の調整額△19,153百万円にはセグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△19,169百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2023年9月1日至2024年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	東南アジ ア・オセア ニア事業	欧米事業	計			
営業収益								
商品・製品売上高	290,351	143,983	28,789	29,429	492,554	—	—	492,554
営業収入	2,776	265	56	47	3,145	0	—	3,145
顧客との契約から生 じる収益	293,128	144,249	28,845	29,476	495,699	0	—	495,699
外部顧客への売上高	293,128	144,249	28,845	29,476	495,699	0	—	495,699
(1)外部顧客への営業 収益	293,128	144,249	28,845	29,476	495,699	0	—	495,699
(2)セグメント間の内 部営業収益又は振 替高	0	—	—	—	0	459	△459	—
計	293,128	144,249	28,845	29,476	495,699	459	△459	495,699
セグメント利益	30,810	25,514	3,565	3,852	63,741	36	△21,308	42,469

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. セグメント利益の調整額△21,308百万円にはセグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△21,310百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、管理費用等の配分方法を見直すとともに、国内事業に配分していた費用のうち一部については、全社費用として「調整額」に含めて開示する方法に変更し、また、未実現利益については、各報告セグメントに商品原価として配分して開示する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメントの利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性がないため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」記載のとおりであります。